

令和4年度
事業計画書

文京区地域公益活動ネットワーク

令和4年度 文京区地域公益活動ネットワーク事業計画

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

長引く新型コロナウイルスの流行によって、社会情勢も大きく変わり、これまで以上に困難な状況にある家庭や子どもが増えることが予測されます。これらの課題に対応していくために、子どもの食支援の持続可能な体制づくり、それにおける地域との連携、またネットワークでの活動の在り方を模索していくことが求められています。

コロナ禍であっても新たなニーズに対応して、止めることなく活動を継続できたのはネットワーク全体で取り組めた意義であり、さらに地域の中で「夢の本箱」が定着し、支援のすそ野が広がってきたことの証でもあると感じます。

令和4年度も、これまでの活動をさらに促進、発展させ柔軟に地域のニーズに対応できるよう、次に掲げる活動によって、文京区における子どもの課題に取り組んでいきます。

① 「夢の本箱」の周知強化

令和3年度はオンライン上から本箱を介さなくても、ご自宅から直接集荷により寄付ができる方法を採用したことで、従来の方法に加えて寄付者にとっても利便性が高くなりました。

令和4年度も引き続き、新たな寄付方法について周知活動を積極的に行い、安定的に財源確保をめざすとともに、ご支援の成果を地域の方にも発信していくことができるよう取り組みます。

② 地域活動団体や個別のご家庭への長期休み中の食支援

令和3年度に引き続き、給食のない期間、夏休みや冬休み、春休み期間中に活動を行う地域団体と地域の飲食店と連携をして、個別のご家庭への食支援を行います。“食”をテーマに、地域の取り組みを後方から支援することで、見守り・支えあう地域づくりの一助となるよう取り組んでいきます。

③ 夢の本箱プロジェクトの可視化

ネットワーク参加法人の担当者の方以外にも、夢の本箱プロジェクトの取り組みの意義を共有できるような取り組みを進めます。また、連携相手先となる地域活動団体や地域の飲食店と法人が顔の見える関係性を作り、互いに思いを共有し合うことで、今後の支援のすそ野広げることや、

新たなニーズを知る機会を作り、地域との連携を深めていくことができるよう、支援活動についての可視化を進めます。